

心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 松江市立出雲郷小学校 ～

1. 概要

9月5日(火)、松江市立出雲郷小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。児童たちは小学校の近くにある遺跡・古墳やにはわについての話を聞き、遺物見学をしたのち、体験活動としてはにわ作りをしました。この授業を通じて、自分たちの身近にも多くの遺跡や古墳があることを学んだことで、地域の歴史についてより関心を持つようになったと思われます。また、にはわ作り体験では、みんな楽しみながら取り組んでおり、当時の人々のくらしや物作りについて想像をふくらませていたようです。

2. 学習の様子



「にはわは古墳に立てられていました」



本物のはにわや土器に見入る児童たち



まずはにはわの胴体を作って…



頭をつけるのがなかなかむずかしい



穴をあけて目をいれて…



うでをしっかりつけて…



だいたいできたかな



これは親子にはわ？

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- ・島根県内にはたくさん(1万か所)の遺跡があることにびっくりした
- ・出雲郷小学校のすぐ近くにも遺跡があること
- ・こんなにも身の回りに遺跡があるんだと思った
- ・本物の遺物を見られてよかった
- ・昔(千数百年前)の土器できれいに残っているものもあってびっくりした
- ・はにわ作り。やっていたら夢中になって、やればやるほど楽しいと思えた。
- ・時間を忘れるくらい集中して作っていた
- ・最初はむずかしかったけれど、どんどんなれてきて上手に作れてよかった
- ・思ったよりもむずかしかったけれど、コツをつかんだらできた
- ・自分のオリジナルのはにわを作れたこと
- ・人それぞれの作ったはにわの個性が見えて楽しかった
- ・昔の人はよくうまくつくれたなと思った
- ・遺跡や古墳についてもっと知りたい、見に行きたい
- ・自分で遺跡を探したり、実物を見てみたい
- ・縄文時代の遺跡について知りたい

2) 担任の先生から…

- ・出雲郷小の周辺にも遺跡があったのか！と子どもたちが盛り上がっているのを見て、1300年以上も前のことが身近に感じられ、意欲の向上につながった。
- ・はにわ作りを体験することで古代の人々の生活や文化への理解が深まった。
- ・持って来ていただいた遺物をさわったり、近くで見たりする時間をもっと長く全員に与えるべきだった。
- ・事前打ち合わせから当日までしっかり準備と連絡をいただき、安心してお任せすることができた。
- ・1学期の古墳時代学習時にできていれば…と少しばかり悔やまれる部分もあるが、講義から体験まで実りある2時間となった。

3) 埋文センターから…

遺跡や古墳は、教科書にのっている以外にも島根県内や皆さんのまわりにもたくさんあることを知ってもらえたと思います。また、はにわ作り体験では、はにわがどんなものなのかをイメージして、古墳時代の人がどうやって、どんな思いではにわをつくったのか、想像をふくらませたのではないのでしょうか。今日の授業を振り返って、地域の歴史や文化について興味・関心を持ってくれるとうれしいです。